

令和8年度 土砂災害防止功労者表彰者 一覧

【個人】

推薦団体	氏名	表彰基準	功績概要
北陸地方整備局	忠地 義光 (特定非営利活動法人梓川流域を守る会顧問)	(4) 土砂災害防止対策事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和58年奈川村の土砂災害以降、村議会議員、村長、市議会議員として村域の復旧・復興に尽力された。 ●令和元年7月より特定非営利活動法人梓川流域を守る会の理事長として砂防事業推進のため、関係機関との調整や地域の声を中央へ伝える役として貢献された。 ●同会の理事として12年7ヶ月、理事長として6年の永きにわたり、土砂災害対策等において、会独自の危険箇所調査を行い行政機関への提言・要望活動、砂防に関する啓発活動(広報誌の発行等)等に積極的に従事された。 ●サクラマスの遡上を観察できる金原砂防堰堤の建設に構想から完成まで地域の代表として参画し、環境の保全に配慮した砂防事業の実現にも貢献されている。
長野県	平松 晋也 (信州大学名誉教授)	(7) 研究、発明	<ul style="list-style-type: none"> ●斜面に生育する樹木の根系と雨水の挙動の関係を長年にわたり現象論的に研究され、山腹崩壊の発生予測に繋がる成果を挙げられた。 ●大規模土砂災害発生後の警戒避難基準の設定及びその解除時期に関する研究、森林の有する崩壊発生抑制力の適正評価に関する研究を始め、深層崩壊や大規模な表層崩壊の発生メカニズムの解明及びその予測手法の開発に向けた研究に取り組んでこれ、これら多岐にわたる多くの研究成果を砂防学会誌をはじめとした学術誌に投稿されている。 ●御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会、土砂災害警戒情報検討委員会、大規模土砂災害対策検討会など、国土交通省や長野県を中心に数多くの委員会等に参加、座長や委員長を務められ、最新の研究成果や高度な知見をもとに、技術的、学術的な面からの確かな助言、指導を行うなど、砂防行政においてより効果的な施策を立案、展開するため多大なる貢献を頂いた。 ●教育面に関しては、信州大学等において質の高い教育を実践し、これにより旧建設省、国土交通省、林野庁、都道府県、民間建設系コンサルタント社等に多くの優秀な砂防技術者を輩出することに貢献した。 ●各種シンポジウムや学術的な会議において基調講演を行うとともに、メディアにも積極的に出演し土砂災害にかかる講義、説明を行うなど、講演や書籍の執筆、広報活動を通じて若手研究者や技術者への技術伝承にも努めている。 ●公益社団法人砂防学会及び日本地すべり学会において、長年にわたり理事、役員として学会活動に携わられており、平成30年からは砂防学会専務理事、令和2年には日本地すべり学会長に就任され、砂防、地すべり分野において学会の発展と科学技術の振興に尽力されてきた。 ●日本地すべり学会長在任中は、技術者の確保や斜面防災教育の必要性、魅力ある学会の活動の推進等を学術団体として広く社会に発信することに努められ、学会を通じて研究者や技術者の育成、技術力や研究力の向上に貢献された。

【団体】

推薦団体	団体名	表彰基準	功績概要
滋賀県	米原市消防団伊吹方面隊第2分団伊吹班	(1) 生命又は身体の保護	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年7月1、15、25日の大雨による伊吹山からの3度にもわたる土砂災害において、その都度発災時より団員の緊急出動を行い地域の住民の安否や災害状況の確認を行った。 ●災害時以外でも特に当初発災時から避難解除される9月30日までは、大雨や台風の度に昼夜を問わず、水路や道路において土砂や流水状況などの現地確認を行った。 ●土砂災害発生後においては住宅内の土砂撤去や、住宅内への流水防止のための土のう積などの対処にも従事し、水害・土砂災害被害の軽減・防止にも活躍され、人的被害はなかった。
奈良県	奈良県 砂防ボランティア協会	(3) 土砂災害防止思想の普及 (4) 土砂災害防止対策事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●平成22年には、災害時における迅速かつ的確な被災状況の把握や日頃からの啓発活動等により奈良県が行う土砂災害防止活動を支援することを目的として、同協会と県との間で「土砂災害に関する協定書」が締結されている。 ●平時において、県内の砂防施設の点検を行い、毎年施設管理者である奈良県に点検結果の報告を行う等、設備の安全利用並びに維持管理・老朽化対策に貢献している。 ●県内にて土砂災害が発生した際、県土木事務所に対する安全対策・応急対策への技術的アドバイスを行う事を目的に、協会員を対象とした講習会や現地研修会を定期的な開催、斜面判定士の育成、奈良県防災総合訓練へ継続的に参加するなど技術研鑽を行っている他、県現役職員を対象とした現地研修会等を企画・実施するなど、奈良県全体の土砂災害対応能力の向上に貢献している。 ●県内にて土砂災害が発生した際、現地を確認した上で応急対策等への技術指導・アドバイスを頂く等、本県における災害対応に対し大きく貢献しており、平成23年紀伊半島大水害においては、同協会員が現地調査に従事するとともに、鍛冶屋谷砂防災害関連緊急事業をはじめ、大規模地すべり(深層崩壊)等への対策、関連して被災した道路や河川施設復旧に必要な安全対策等について技術的アドバイスを実施するなど早期の災害復旧に多大な貢献を果たした。 ●奈良県と協力して、小中学校における防災教育や、商業施設における一般向けの防災啓発活動、奈良県が有する地すべりの防災展示施設『室生じすべり見楽館』における一般向けの啓発活動を行うなど、本県における土砂災害の自分事化の取組に大きく貢献している。